

働く人への感謝や自分の将来のことを忘れずにいたいです。

働いてお金を稼いで、それで生活していく、というのが人間生き方の基本です。あはにちも将来、何らかの仕事について、自分を養うため、自分の大切な人を幸せにするため、この国の未来のため働かなければならない。

そこで、「進路学習」としてキザニアに行き、いろいろな職業体験を通して、

「仕事」について学び、「将来」について考えてもらいました。ほとんどの人が、小学生のときにキザニアに行ったことがあつたというのでしたが、中学生には、もう一度行くこと、また違った見方ができようか、という内容の作文を書いてくれた人がいたので、嬉しかりです。

さて、いろんな人がいるな

事を学んだみたいだね。あたり前のことですが、お金をもらって仕事をやる以上、そこにはそれだけの責任が生じます。その重さを感じとれたかな？
社会を歩んでいくにつれて、「職業」の種類もどんどん増えていきます。私が中学生の頃にはなかった「職業」も数多くあります。しっかりと学習して「将来」についても考えよう。

私は、キザニアで「将来」と「働く」についてたくさん学んで考えました。今まで将来のことをあまり深く考えたことがなくて、中学生になってからやっと自分のやりたいことが分かりました。それでも遠い先の夢だと思っていました。今回キザニアでは、今まで全く目も向けず気づけなかったことを知って、将来や働くことが身近に感じられました。まず食品を扱う職業について気がついたことがあります。1つは、衛生のために細心の注意をしているということです。私たちが毎日安全でおいしい食べものを食べられるのは働く人がそんなことまで気を配ってくれているからだと分かりました。もう1つは、立ったままではとても疲れるということです。ラジオの番組では裏方の人もとても大変だと分かりました。これからは働く人への感謝や自分の将来のことを忘れないようにしたいです。

私は、キザニアで学んだことは、自分が大人になったら、自分が社会に出るときにとても役に立つことだと思いました。

私は、ビューティーサロンで学んだことが一番印象に残っています。ビューティーサロンではまず、お客様に対する言葉遣いと、物を大切にしたり、やさしく笑顔で接することが大事なんだと学びました。実際、やってみるととても難しく、ほっぺはつるし、手は震えるのでとてもきんちょうしました。でも、メイクが終わってお客様を見ると、とても笑顔で、喜んでくれていたので、とてもほっとしたのと、私もとてもうれしかったです。私は「仕事」というのは、お客様にとっておきの笑顔と、喜んでもらうことなのかなと思いました。キザニアで学んだことは、将来、自分のためになることばかりだと思いました。

55 期生の仲間たち

東三国中学校 1 年生学年通信 vol.3 2015 年 11 月 20 日 (金)

1くみニ
Nさん

1くみ
Hさん